

安曇野市議会議員

矢沢たけひこ

まっすぐ
安曇野に全力！

《矢沢たけひこ後援会》

〒399-8205 長野県安曇野市豊科5184-4

携帯 090-9357-0802

Eメール takehikoyazawa0802@yahoo.co.jp

日々の活動や議会報告を
FacebookやYoutubeでお知らせ
しています。下のQRコードまた
は検索をご覧ください。



活動報告レポート 2024年第3号

矢沢たけひこ

検索



第19回マニフェスト大賞 エリア選抜 & 政策・まちづくり部門 優秀賞受賞！



※最優秀賞の発表は11月15日です。超党派議員ネットワークのメンバーとしての受賞です。

いつもお世話になっております。安曇野市議会議員の矢沢たけひこです。酷暑が終わり
を迎え、肌寒さを感じるようになってきました。寒暖差の激しい時期でもありますの
で、皆様ご自愛ください。

令和6年9月議会では、4つの項目について一般質問をいたしました。任期もあと約
1年。限られてくる質問の機会を活かし、よりよい安曇野を目指してまいります。9月議
会での質問の詳細は裏面で紹介させていただきます。

9月議会でも取り上げましたが、超党派議員ネットワークとして全国の自治体議員の
仲間たちと取り組んだ「3歳児健康診査の問診票における『^{きつおん}吃音項目の見える化』」に
関する取り組みが、第19回マニフェスト大賞においてエリア選抜され、政策・まちづくり
部門で優秀賞を受賞しました。

質問内容は裏面で紹介させていただきますが、今回の超党派議員ネットワークの取り
組みで、343自治体の問診票を収集し調査したところ、「吃音」の項目を明記している
自治体が1.2%に留まっており、吃音が十分に発見されていない恐れあることが明らか
になりました。安心して子育てできる環境を整えるため、こうした取り組みをはじめ、
今後さらに力を尽くしてまいります。

こんなこともしています！

議会報告会や他自治体の視
察受け入れ、議会だよりの編
集、行政視察、組合議会など
の仕事も行っています。



【矢沢たけひこ プロフィール】

- 1985年(昭和60年)8月2日、安曇野市豊科生まれ。同地在住。
- 細萱保育園、豊科北小、豊科北中、松本筑摩高(昼間定時制)、中京学院大学経営学部、
中央大学大学院(公共政策研究科)を経て、都議会議員秘書。
- 地元郵便局や民間勤務を経て、令和3年10月に安曇野市議会議員初当選。
- 安曇野市消防団第2分団所属(10年目)

◆市議会での役職◆(令和5年9月以降)

- 【常任委員会】 福祉教育委員会
- 【特別委員会等】 議会広報特別委員会 副委員長、議会改革推進委員会、議会ICT研究会 会長
- 【一部事務組合議会等】 安曇野松筑広域環境施設組合議会、安曇野・松本行政事務組合議会、
松本広域連合議会

好きな食べ物/ラーメン、そば、から揚げ、妻の手料理 趣味/写真撮影、ドライブ
家族/妻、娘(この9月に誕生しました!)、96歳の祖母、父、母、妹



パパに
なりました！



令和6年9月議会 矢沢たけひこの 一般質問をご紹介します



質問や答弁の詳細は
議会中継からご覧に
なれます。



1 市内JR駅の交通系ICカードの 利用拡大に関連して

来春をめぐに、JR東日本は交通系ICカードの利用拡大を予定しており、大系線・篠ノ井線も対象となっています。

これにあわせて、「あづみん」でも利用できるようにすべきと考え、提案しようとしたところ、今回の補正予算案に計上されることが判明。詳細な説明を求めたところ、来年4月1日から、全車両へ導入予定との答弁でした。さらには、Suicaだけでなく、PasmoやICOCAなど、他地域の交通系ICカードなども使用できるようにする予定とのこと。また、QR決済やクレジットカード決済なども使用できるように調整していくとのこと。



3 投票率アップを目指して —新たな取り組みを—

年々減少傾向にある投票率。私は投票率は高い方がよいと思っており、今回は執行側での取り組みについて、投票済証明書のデザインや割引などの工夫、親子連れ投票促進などを提案しました。

特に期日前投票所の商業施設への設置については、市からも「投票環境の改善の取組の一つ」といたしまして、今後検討させていただきたい」と前向きな答弁がありました。

市長も「選挙は、民主主義の根幹」「政治に多様な意見、多様な民意を反映させるため、多くの有権者に投票いただくことが望ましい」「権者が投票の意義を認識して、選挙権を行使するということは、誰もが暮らしやすい多様性のある社会の実現には必要不可欠」と答弁しており、ぜひ前向きに進めてほしいところです。



2 新たな温泉振興策「御湯印」 ごゆいん

神社仏閣なら御朱印、お城なら御城印などその場所を訪れた証として様々な印を集める方がいます。私も御朱印を集めていますが、先日出かけた先で温泉の「御湯印」という試みを知りました。

温泉振興策の一案として市に提案したところ、「入浴施設の活性化や利用促進につながるもの」「各施設の指定管理者の意向も確認しながら、観光協会などにもお伝えいたしまして、域内周遊を促す方策の一つとして参考とさせていただきたい」と答弁がありました。

その後、「ほりで一ゆ〜四季の郷」で御湯印を開始したという記事を発見。県内では珍しい取り組みとして紹介されていました。市内の他施設でもぜひ取り組んでいただきたいと思います。



4 発達を見守りながらゆったりと 育児が出来る環境へ —吃音を事例に—



吃音は成人の100人に1人ほどおり、日本には約120万人いると言われています。2歳〜5歳に始まることが多く、7〜8割は自然に治りますが、症状が固定化し、大人になっても残ることもあります。

安曇野市の問診票では言葉に関する項目はありますが、吃音に限った項目はなく、吃音症状のある児童の数がわからない状況です。

また、児童発達支援センターの設置・開設に向けた状況についても確認しました。現在は子ども発達支援相談室がその機能を担っており、設置については目標に掲げて検討しているところ。なお、相談室には様々な専門職がいますが、来年10月から言語聴覚士が正規職員として採用される予定です。（現在は会計年度任用職員）

地域の声を
矢沢に！

皆さんが暮らしの中で困っていること、市政へのご意見など
ぜひ聞かせてください！

携帯 090-9357-0802 Eメール takehikoyazawa0802@yahoo.co.jp